

## 志賀原子力発電所2号機 原子炉建屋内における水の漏えいについて

志賀原子力発電所2号機（第3回定期検査中）において、平成26年4月15日（火）15時16分頃、燃料プール冷却浄化系※<sup>1</sup>ろ過脱塩器※<sup>2</sup>（B）出口弁の開閉試験を行ったところ、隣接する分解点検中の流量調節弁の開口部から、床に水が漏えいしました。直ちに開閉試験を行っていた弁を閉め、漏えいは止まりました。

漏れた水の量は約54リットル、放射エネルギーは649ベクレルでした。  
外部への放射能の影響はありません。

水が漏れた際、分解点検作業の作業員1名の両足膝下の作業服及び作業靴に、漏えいした水が若干かかりましたが、身体に汚染がないことを確認しました。

水漏れの原因は、弁の開閉試験時に万が一の水漏れを想定し、予め対策を行っていましたが、多量の水漏れの可能性に対する配慮が十分ではなかったことによるものです。

今後は、多量の水漏れの可能性を十分認識し、弁の開閉試験などは開口部が存在しない状態で実施することに一層留意してまいります。

### ※1：燃料プール冷却浄化系

燃料プール内に貯蔵する使用済燃料からの崩壊熱を除去し、また、燃料プール水に含まれる不純物を取り除くための系統。

### ※2：ろ過脱塩器

燃料プール水に含まれる不純物を取り除く装置。

